

■……「アベノミクスはなぜ失敗」

するの？ 財政破綻はいつ来るのか
—本の広告を見たらこんな宣伝文が。専門家と自称する人たちの経済や景気予測は当たった例（ためし）がありませんね。さきに行われた総選挙の結果も予想しただけ無駄という気にさせられます。天気予報は最近は良くあたるようになりましたが、昔からカケ事で、「気象台」「気象庁」とつぶやきながらパイを放って相手に当たらないよう願ったものです。

■……軽減税率が話題になっています。安倍政権のある種の「売り物」。低い年金受給者たちに月5000円を支給する計画らしいですが、国としては総額6500億円の税収減になるそうです。しかし低所得者を含め低収入で毎日を生きる国民にとって「政治のもたらす優しさ」を与えてくれます。永田町にも自分たち困窮者を気にしてくれている政治家が居るのか、と感動させられますね。これが真の政治の在り方かも知れません。

■……対馬の貴重な仏像を韓国人5人が盗んだとか、小笠原諸島のサ

ングを中国漁船が採取して行く。尖閣諸島の海域に中国漁船が多い時で200隻も違反行為を。竹島では韓国軍が勝手に軍事訓練をやらかす。日本の周辺海域に浮ぶ島々は何処もご難続きです。政府も後手々々に回らないうちに何とか適切な措置を取らなくては。何時かどこもかしこも小島という小島が、「無人島」と化してしまうのでは……。

■……こちらはお隣りの韓国。「韓国は惨事共和国？」というほどここ10年ほど大惨事が起きているように。さる4月に旅客船沈没で修学旅行中の高校生ら304人が死亡・行方不明になったのは驚かされました。古くは95年6月、ソウル市内の百貨店崩壊でなんと502人が死亡とか。最近では10月17日、ソウル郊外の野外コンサート場で換気口のフタが崩れ落ちて16人が転落死。韓国では大惨事が起きてても社会の「反省」は一過性に終わるから、似たような事故が繰り返えされる——とある在日の学者先生が解説してくれました。まあ、日本人も似たような気質がありますよね。

■……さる11月22日、「闇社会の守護神」といわれた検事上がりの弁

護士田中某が71歳で死去。胃がんを患った揚げ句でした。この男、東京大阪両地検の特捜部検事までは良かったもののバブル全盛期の88年に弁護士に転じ、ある事件で企業から約179億円の約束手形をだまし取った詐欺事件で懲役3年の実刑判決、08年には別の詐欺事件で逮捕され、再び懲役3年の実刑をくらいました。いわゆる「地下経済のフィクサー」。正義感強く？、辣腕家？も最後はバブルの時代に翻弄された、としか言いようのない男。

■……大相撲九州場所が終わって幕内力士の外国人の数をかぞえてみると東の21人の力士のうち7人が、西の22人のうち8人がモンゴルにはじまってブラジル、ロシア、中国、グルジア、エジプトの6カ国出身です。スポーツの国際化で今どの種類の競技でもさまざまな国の選手たちが活躍させています。島国ニッポンもこれらのプロ選手たちに寛容な姿勢で迎え入れるようになりました。相撲は「国技」と呼びますが、今の時代、そうは言っていられませんが、横綱、大関3人がモンゴルで「頭に来て」ファンがいて困ったものです、ホント。

月刊公論 MONTHLY
KORON

1月号 第48巻1号

平成27年1月1日発行 毎月20日発売
本体価格848円(税別) 送料86円

発行人
発行所

大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
株式会社財界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616

印刷所
取次店

株式会社廣済堂
トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。